●安全上の注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、製品や周辺機器の損害を未然に防ぎ、本器の機能を正常に保つために、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 警 告　誤った取扱いをすると、使用者が死亡または傷害を負う可能性があります。

ペースメーカー等の使用者は、検針器を使用したり近づいたりしないでください。磁気がペースメーカー等に影響を及ぼす恐れがあります。

⚠ 注 意　誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定されます。

●本器を針(鉄片)の検出以外の目的で使用しないでください。

●本器を以下の物に近づけないでください。
本器及び下記の物の機能に異常が発生する可能性があります。

磁石・スピーカー・磁化した工具類など磁気を帯びたもの

アクセサリー類・腕時計・ベルトのバックルなどの可動金属体

磁気カード(クレジットカード・キャッシュカードなど)、磁気テープ、テレビモニターなど、磁気の影響を受けるもの

熱器具(ストーブ・コンロ等)

●本器を以下のように取扱うと、機能低下や故障・破損の原因となります。

分解や改造

強い衝撃を与える

水に濡らす

●ご使用にならないときは、電源をOFFにしてください。

ご不明な点、あるいは不具合な場合は、お買い上げいただいた販売店または最寄の弊社営業所までお問い合わせください。
他にも超小型からコンベヤー式の大型まで各種検針機・金属探知機があります。お問い合わせください。

JMDM 金属探知機のエキスパート
日本金属探知機製造株式会社
■大　阪　〒567-0024　大阪府茨木市三咲町1-27
TEL.072(627)4553　FAX.072(626)6967
■東　京　〒111-0041　東京都台東区元浅草1-17-8
TEL.03(5828)6551　FAX.03(5828)6450
■名古屋　〒491-0912　愛知県一宮市新生4-4-7-405
TEL.0586(45)9153　FAX.0586(45)9154
http://www.orb.co.jp/jmdm/

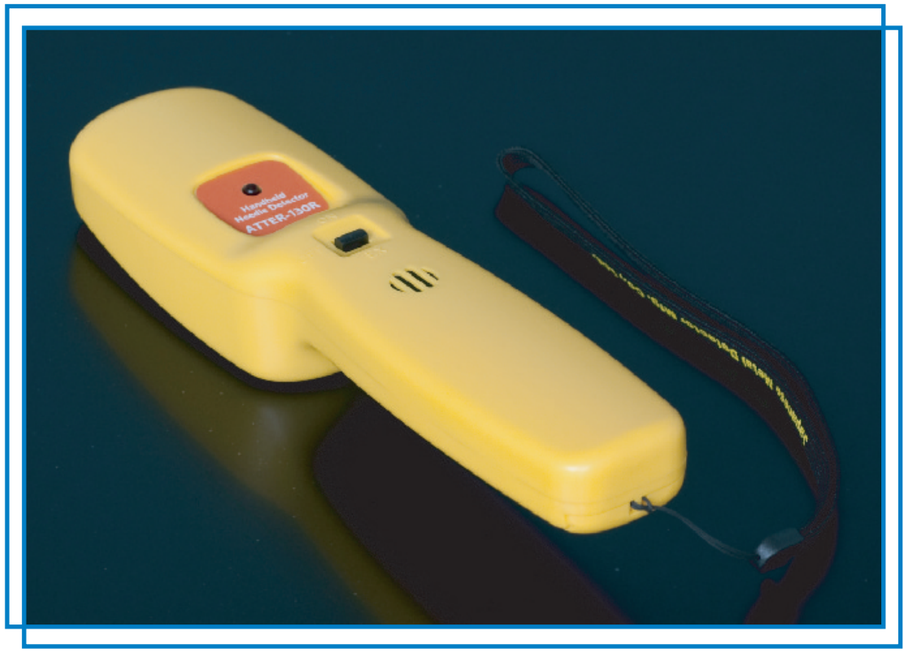
ATTER-130R

アッター

ハンディ型検針器
鉄検知専用

ORB GROUP

カタログNo 130RM09



ハンディ型検針器 ATTER-130R

- 縫製品の検針や、不織布、繊維製品、食品などあらゆる業界において、混入した針(鉄片)を見つけることを目的に開発した検針器です。
- 原理・構造は、内蔵した専用の強力な永久磁石の磁界に、磁性体(磁石につくもの)が近づくと発生する磁界の乱れを判別し、ブザーとランプで検知動作をします。
- 磁気の原理上、アルミ、ステンレスなどの非磁性体もコイン程度の大きさ以上は、渦電流が発生するので検知動作をします。

検針機と金属探知機

- 検針機＝ファスナーや金属ボタンなどを無視して、針などの磁性体金属を見つけることができます。
- 金属探知機＝非鉄金属を含めて全ての金属を検知します。

ATTER-130R　6つの特長

1. 検知感度を選べます。
電源スイッチは中央位置が「OFF」、前方へスライドすると標準感度レンジ「ON」で、手前にスライドすると高感度レンジ「EX」で電源が入ります。
感度レンジと検知距離についてはP.2の「感度レンジと検知距離」で説明しています。ご参照ください。

2. バランスが良い。
形状とウエイトバランスを考慮し、長時間の検針が容易になりました。

3. 省電力設計です。
新開発の電子回路が高感度で省エネを実現しました。

4. 警報はブザーとランプです。
ブザーは小型軽量で大音量です。音の高さは良く聞こえる周波数に設定してあります。
同時に赤色ＬＥＤが点灯します。

5. 電池交換の時期をお知らせします。
電池交換のタイミングをブザーの連続音と、LEDランプの点滅でお知らせします。従来器のATTER-120Rにはない機能です。

6. RoHS指令対応品（鉛フリー）です。
地球環境対策の一環として、欧州ではすでに政令化されている基準に対応しています。

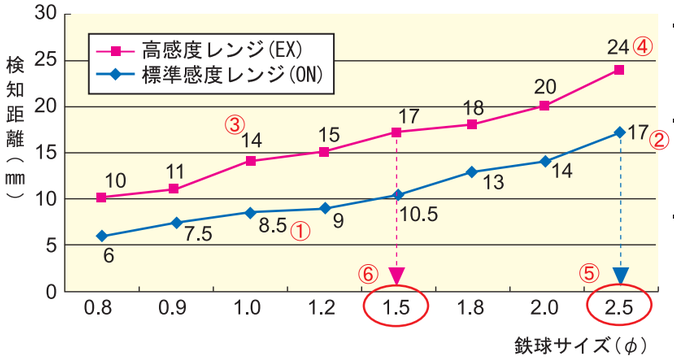
●用　途

生産工場での品質管理・店頭などでの防犯管理。

- 縫製品全般(婦人服・子供服・ベビー服・紳士服・きもの・ぬいぐるみ・毛皮製品)に混入した鉄製縫い針、折れ針、マチ針、ピンなどの検出、検針。
- コンベヤー式検針機、大型検針機で検知された商品の中の部分検針と針位置確認。
- 食料品パック、医薬品の中に混入された縫い針、ホッチキス、鉄釘などの検出。
- 拳銃、刃物類の検出を目的とした警備用。
- 医療関係での体内侵入針などの検査、MRI検査(核磁気共鳴撮影)前の鉄片装着検査での使用。

●感度レンジと検知距離

グラフの青線は標準感度レンジ(ON)、赤線は高感度レンジ(EX)における各鉄球の検知距離を示しています。



- 標準感度レンジ(ON)では、1.0φ(直径1.0mm)の鉄球を検知面から8.5mmの距離まで(①)、2.5φ(直径2.5mm)の鉄球を17mmの距離まで(②)検知します。
- 高感度レンジ(EX)では、1.0φ(直径1.0mm)の鉄球を検知面から14mmの距離まで(③)、2.5φ(直径2.5mm)の鉄球を24mmの距離まで(④)検知します。
- 高感度レンジ(EX)では同じ距離でより小さな鉄球を検知します。
  検知面から17mmの距離の場合、標準感度レンジ(ON)では2.5φ(直径2.5mm)の鉄球を(⑤)、高感度レンジ(EX)では1.5φ(直径1.5mm)の鉄球を(⑥)検知します。

※ 金属部品があったり、製品そのものに金属反応がある場合、検査品によっては高感度の「EX」では検知動作をしてしまうことがあります。
この場合は、標準感度の「ON」でお使いください。

●仕　様

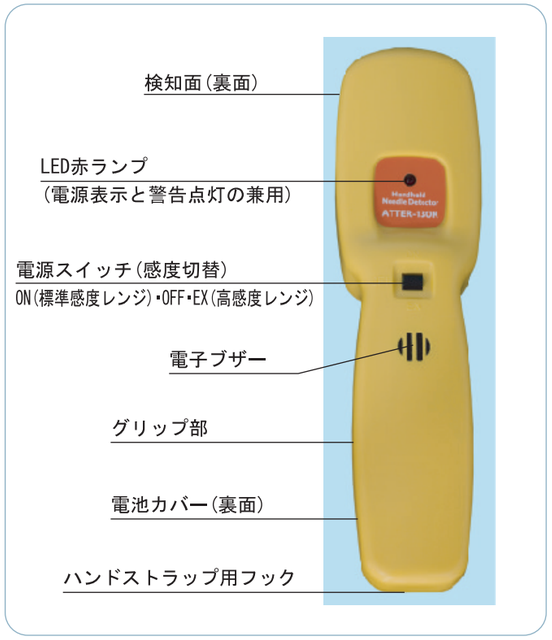
検知能力	●標準レンジ(ON) 2.5φ鉄球／17.0mm ※1 1.0φ鉄球／8.5mm
	●高感度レンジ(EX) 2.5φ鉄球／24.0mm 1.0φ鉄球／14.0mm
警報	LED赤ランプ・ブザー
検知面	60×100mm
電源	単3×2本
電池寿命	約300時間※2
寸法	60×230×60mm
重量	約290g（電池重量含む）
ケース	樹　脂

※1. 直径2.5mmの鉄球を検知面から17.0mmの距離まで検知。
※2. 標準的な使用条件でアルカリ乾電池使用時の目安です。

●付属品：単3電池2本、ハンドストラップ、取扱説明書

他のハンディ型検針器もあります。
お問い合わせください。

●各部の名称



ATTER−130R　取扱説明書

●使用方法

①電源を入れてください。

- 電源スイッチは中央位置が「OFF」、前方へスライドすると「ON」です。
  「ON」にすると、標準感度レンジとして電源が入り使用できます。
- 手前にスライドすると「EX」で、高感度レンジです。このレンジは、特に微小鉄片を検知したい場合に使用します。
- 金属部品があったり、製品そのものに金属反応がある場合、検査品によっては高感度の「EX」では検知動作をしてしまうことがあります。この場合は、標準感度の「ON」でお使いください。

②検査を始める直前と終了後に

電源を入れて、検査を始める前に適当な金属に近づけ、ATTER-130Rが「ピピピー」と正常に動作することを確かめてください。
検査を終了する時も同じように正常に動作することを確かめ、それまでの検査の間、ATTER-130Rが正常に動作していたことを確認してください。検査終了時に異常であれば、全数再検査をお勧めします。

③検査を始めましょう。

検針器のグリップ部をしっかりと握り、検知面で検査物の上をアイロンをかける要領で動かしてください。

本器は原理上、静止した状態では検知動作をしません。金属の移動速度が速いほど起電力が大きくなり、小さな金属を検知します。
必ず前後左右に、50cm/秒程度の速度で動かしてご使用ください。手の指を広げると20cm位になります。
この距離を1 秒で往復する速度を検査速度の目安にしてください。

シャツなどの衣類は、
およそ1秒間に1往復程度。

食パンなどの小さなものは、
およそ1秒間に2〜3往復。

検知距離は、2.5φ鉄球の場合、標準レンジで最大17.0mm、高感度レンジで最大24.0mmです。本器と検査品の距離が離れると検知できませんので、必ず検知面で検査箇所をなでるようにしてご使用ください。

※ここでは標準的な検査動作を記載していますので、社内規定がある場合は、規定に従ってください。

④針（鉄片）を検知するとブザーとランプでお知らせします。

針を見つけると電子ブザーが鳴り、LEDランプが一段と明るく点灯します。
複数の針が同じ場所に残っている場合があるため、針を抜き取った後、再度検針をお勧めします。

■電池交換の時期

電池がなくなってくると、ブザーが連続して鳴り、LEDランプの点滅が続きます。電池を交換してください。

重要なご注意

- ●交換用の単3電池を2本ご用意ください。
- **●オキシライド乾電池は使用しないでください。**
  電圧が高いので、誤動作する可能性があります。
  アルカリ乾電池もしくはマンガン乾電池をご使用ください。
- **●電圧が1.2Vになると電池交換の警報モードになります。**
  市販の充電電池の多くは公称電圧が1.2Vのため、使用できない場合があります。

●電池交換方法

1)電源スイッチをOFFにします。
2)本器裏面の電池カバーをスライドして外します。
　電池カバーのくぼみを押してスライドすると、外しやすくなります。
3)古い電池を取り出し、電極マーク「+ −」を確認して、
　新しい電池を入れます。
4)電池カバーを元のように取り付けます。